

Women's Doubles 女子ダブルス



130代 優勝・杉本久美子・皆川文子
(チーム山形/山形)



140代 優勝・沼尾啓子・仲山正子
(オオールクラブ/栃木)



140代 準優勝・宮澤百合子・大石雪子
(尾山台クラブ・府中ラージボール同好会/東京)



160代 3位・高田美枝・瀧美昭子
(千葉ラージ卓球会・流山クラブ/千葉)

Men's Doubles 男子ダブルス



80代 優勝・阿部稔&高橋鑑史郎
(カヴァヌーラ/神奈川)



120代 優勝・斉藤斉&井上啓
(しずおか信用金庫・井上卓球/静岡)



150代 優勝・石田公典&森口健二
(小金井卓連・尾山台クラブ/東京)



150代 準優勝・沼尾憲彌&絹川寧
(かもしかクラブ/栃木)



160代 優勝・小野塚章司&磯村章
(ベガクラブ・佐倉ラージ/千葉)

Mixed Doubles 混合ダブルス



140代 準優勝・国重博&大江恵美子
(防府ベテラン会・ひかる/山口)



140代 3位・加藤優&古市智子
(個人/埼玉)



150代 優勝・新井良作&野口美智子
(植水クラブ・ローズクラブ/埼玉)



150代 優勝・中山和英&斎浦美智子
(クロスサキ/徳島)



150代 優勝・渡部洋一&田崎朝子
(会津クラブ/福島)



160代 優勝・杉山泰敏&袴田弘子
(富士ラージ・掛川桔梗/静岡)

Women's Singles 女子シングルス



50代 2連覇 優勝・馮敏 (S.T/岐阜)



50代 優勝・大津絵美子
(丸亀SC/香川)



50代 準優勝・珍道美晴
(松阪レディース/三重)



60代 優勝・五十嵐久美子
(あつみクラブ/山形)



50代 準優勝・濱川永子
(南四国ススキ/高知)



70代 3位・永田ミヨ子
(浜卓会/神奈川)



60代 準優勝・國松愉美
(國松企画/高知)



80代 優勝・珠玖幸子
(神奈川浜卓会/神奈川)



75代 準優勝・大掛まさ美
(イーグルス/東京)



85代 優勝・依光富久子
(府中ラージ/東京)



80代 優勝・原田哲子
(柳友クラブ/山口)

Men's Singles 男子シングルス



50代 3位・山本保
(ななおクラブ/石川)



60代 準優勝・日浦孝治
(チームHIURA/徳島)



60代 優勝・渡辺洋文
(かたくりL/群馬)



70代 3位・金田勉
(新潟如水会/新潟)



65代 優勝・濱西隆重
(ピンポン館/高知)



75代 優勝・中山和英
(クロスサキ/徳島)



75代 優勝・黒田幸彦
(仙台軟クラブ/宮城)

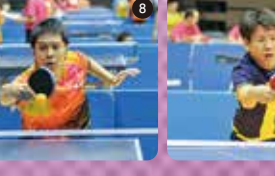
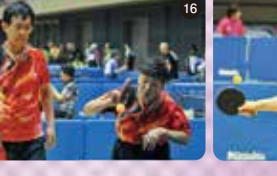
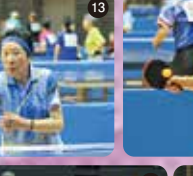


85代 優勝・杉山鉄夫
(山形クラブ/山形)



80代 優勝・古畑富士夫
(浜北クラブ/静岡)

ZOOM-UP
LARGE BALL
NATIONAL



各カテゴリー入賞者一部
※入賞者の方全員を掲載することができませんでした。
お詫びいたします。



女子

50代

男子



COLOR (神奈川)

「連覇は難しいことなので、みんな故障を抱えながらでしたが、それが達成できてホッとしています。決勝の4番では0-2となりましたが、ラストに回れば福川さんがいると思えたので、なんとか逆転できました」と小口浩子選手



東京KING KONG (東京)

「今年は連覇を目標にしていたので、達成できて嬉しいです。まだまだみんな元気なので、3連覇も狙えると思います。この大会は子どもたちから年配まで集まるのが良いですね」と浅葉克己監督兼選手



女子

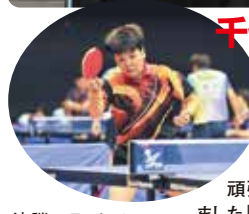
60代

男子



千代田クラブ (東京)

「私と高橋さんは5月末の世界ベテラン後に体調を崩しましたが、ここまでこれでよかったです。また、東京勢が負けていたので、その分頑張りたいという気持ちで臨みました」と高木和恵子監督兼選手



清友クラブ (大阪)

「4連覇ということで大変うれしいです。若い白川と最年長の富沢が頑張ったことが優勝につながりました。昨年故障した政本も今回は単復で頑張ってくれました。来年は5連覇に向けてそれぞれ精進します」と勝英雄選手



全国から447チーム、約3000人が参加した。種目は一般1部、一般2部、50代、60代、小中学生に分かれ、連覇の輝かしい記録を更新したチーム、悲願の優勝を決めたチームなど、いくつものドラマが生まれた。

大阪市立浪速スポーツセンター

第35回全日本クラブ選手権大会

7月15日〜18日
エディオンアリーナ大阪

女子

一般1部

男子



MILFLUR (東京)

「連覇はあまり意識せずいつもどおりやることと楽しくやることを心がけました。準々決勝から厳しかったです。普段は仕事を優先にしているので個々に練習をしてきました」



TTC浦和・土合B (埼玉)

「決勝は頼みの網の胡とダブルスが落ちてどうなるかと思いましたが、大田君が大逆転勝利をしてくれて、泣きたくなるくらい嬉しいです。来年は第1シードになるので、埼玉のためにも頑張りたいです」と田中孝一コーチ



女子

一般2部

男子



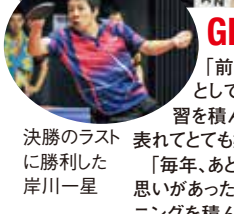
小浜クラブ (兵庫)

「まさか優勝できると思っていなかったで、すごく嬉しいです。一本一本大切にしていこうとみんなで話していました。みんなの力でここまでこられたと思います」と上野順子監督兼選手



GROUND ZERO (東京)

「前は3位だったので、今年は何んとしてでも優勝したいという思いで練習を積んできました。それが結果となって表れてとても嬉しいです」と荻村一晃監督。毎年、あと少しのところで優勝を逃し悔しい思いがあったので、今まで一番練習やトレーニングを積んできました。その姿を見てきたので涙ぐみましたね」と国広哲弥コーチ



「女子は昨年の優勝メンバーが残っていたので、狙える自信はありました。準決勝で肝心のダブルスを落とすときは負けを覚悟しましたが、ラストの直江蓮が頑張ってくれました。昨年同様全国ホープスに向けて良い弾みになったと思います。

男子は、優勝候補筆頭のねや卓球さんとの準決勝に3-2で勝てました。決勝は予想外の0-2スタートでした。ダブルスの組合せは直前まで試行錯誤していて、終盤から左同士が一番考えになかったペアにしましたが、それが勝ってくれたおかげで逆転勝利につながりました。優勝は厳しいと思っていたので、よく頑張ったと思います」川畑圭輔監督

フェニックス卓球クラブ

※男女共にAチームが優勝 (福井)



男女W初優勝



要所で勝ち星を挙げた直江蓮



期待に応えた女子準優勝
寺下拓海・寺下敏倫
ピンポンカベ (広島)

男子準優勝
ミナミラボ (福井)



3位 玖珂SC Jr.A (山口)



3位 玖珂SC Jr.B (山口)



3位 ねや卓球クラブA (岡山)



3位 川崎ジュニア (大阪)



全国ラージ(P10)で唯一無二の存在の平田洋子選手は硬式でも活躍。チームは60代ベスト8



男子小中学生ベスト8のT.Cマルカウ



男子一般1部ベスト8のカヴァヌーラ

